

事後評価結果表

浜松市かわな野外活動センターの指定管理者の事後評価（令和5年度分）については、学校教育部における評価結果を踏まえ、次のとおり公表します。

1 公の施設の名称	浜松市かわな野外活動センター
2 指定の期間	令和2年4月1日～7年3月31日
3 指定管理者	名称：公益財団法人浜松市スポーツ協会 所在地：浜松市中央区和田町808-1
4 評価の概要	(1) 評価者 浜松市学校教育部長 (2) 評価日 令和6年8月27日 (3) 評価点 80.2/100点

5 評価の内容

評価項目		配点	得点
(1) 施設運営管理方針に関する項目			
	ア 施設の性格や目的の理解	4	3.4
	イ 提案が市の施策に沿ったものであること	6	4.2
	小 計	10	7.6
(2) 事業提案（計画）に関する項目			
	ア 事業の具体的取組み方	8	6.8
	イ 施設の運営体制・職員の配置	10	8.5
	ウ 適正な管理・モニタリング	8	6.8
	エ 安全管理・緊急時への対応	10	7.0
	オ 市民サービスの向上	10	8.5
	カ 環境・地域等への配慮	6	5.1
	キ 平等利用	6	4.2
	小 計	58	46.9
(3) 指定管理者に関する項目			
	ア 団体の物的・財政的能力	6	5.1
	イ 施設の運営実績	8	6.8
	ウ 団体の地域貢献	8	6.8
	小 計	22	18.7
(4) 指定管理料に関する項目			
	ア 収支状況の妥当性	10	7.0
	小 計	10	7.0
合 計		100	80.2

(5) 利用状況			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用人数	18,417 人	19,818 人	21,730 人
利用料金	1,627,655 円	1,826,590 円	2,165,965 円
(6) 事業執行（管理運営）に対する全体的な評価			
令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、指定管理者がこれまでに培った経験や知識・ノウハウをもとに、さまざまな感染予防対策や工夫を講じて利用者の安全安心を第一とした運営や、施設の設置目的に沿った計画的・組織的な管理運営を行ったところ、前年度から施設利用人数、利用料金収入ともに増加となった。また、所内の整備を積極的に進め、自主事業では利用者の声を参考に新たな取り組みを設けるなどして、利用者の満足度が高い施設となるような運営ができた。 一方で、遊具のターザンロープ利用時に麻製のロープが切れてしまい、利用者が落下して臀部を強打するという事故が発生している。幸い軽い打撲で済んだが、施設管理や運用について慎重な対応をお願いする。 最後に指定管理者の事業執行（管理運営）に関することではないが、コロナ前は2泊3日での利用が主流であったが、コロナ禍においては1泊2日に制限したため、施設利用人数、利用料金収入ともに、コロナ前から概ね半減の状況にある。			
(7) 来年度の事業執行（管理運営）に対する要望、指導事項等			
- これまでかわな野外活動センターでの活動を起因とするコロナ感染者が出なかったことは、所員が利用者の安全安心に配慮した成果であり、利用者や関係団体との信頼関係構築に繋がっている。 「非日常」を体験する場であるが、障害のある方の施設利用への配慮をはじめ、引き続き多様で包摂的な対応を心掛けてほしい。 - 体験型の社会教育施設であるため、けがや事故が発生するリスクもあるが、リスクマネジメントや危機管理を念頭においた対応をお願いしたい。 - 新型コロナウイルス感染症流行後においては利用者が減少しているが、令和6年度以降は「新型コロナウイルス感染症対策方針」による対応を解除するため、人員配置も含めて事業継続の準備をお願いしたい。			

〈参考〉遵守事項の不履行

項 目	配点	得点
1 提案した業務及び自主事業の不実施	△1.5	0.0
2 労働基準監督署からの是正勧告書などの法令違反	△1.5	0.0
3 重大な事故又は不祥事	△1.0	0.0
4 加入すべき保険の未加入	△0.4	0.0
5 事業報告書の記載不足、重大な誤記載等	△0.4	0.0
6 事業報告書の提出期限超過	△0.2	0.0
合 計	-	0.0